

平林英子 ひらばやし 小説家。明治二十五年十一月（二十二年）長野縣生肌、

平成十二年十二月（一九二一年）に。雑誌『女人藝術』、『婦人公論』

に小説を発表し、昭和七年日本プロレタリア作家同盟（略稱ナルパ）

に参加。のち『現實』、『日本浪漫派』同人。作家中倉孝雄の妻。

著書『南枝北枝』（昭和十五年七月）『五百ぐらうり』、その他として『新

ぐらうり』、『叢書』、『青年の人情』、『昭和四年十二月一日芸術美

社』等。